

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	6 (5)	玄関の施錠は身体拘束となるので、一日のうち開錠できる時間帯を作る工夫をし、身体拘束をしないケアを目指してほしい。	玄関を施錠することで、閉塞感を感じる事のないようにする。	隣接している、通所介護事業所と連携し、開錠する時間を設ける。また、利用者様の希望時には職員同行にて散歩等を行い、閉塞感を感じないよう環境設定を行う。	2ヶ月
2	40 (15)	食事の献立があるように、飲み物についても利用者が選択できる情報提供の仕方を工夫してほしい。	利用者様に自己決定をする機会を設定し、尊厳を保持できるよう努める。	飲み物メニューを作成し、選択する機会を設定する。	1ヶ月
3	45 (17)	曜日ごとに入浴予定者が決まっていて、予定にとられない入浴の実施が見られない。入浴を好む利用者には声かけをする等の支援をしてほしい。	入浴希望者が、いつでも入浴ができるよう環境作りを行う。	柔軟な対応を心掛け、入浴希望者には選択する機会を設ける。また入浴を好む利用者様には、プランとして立案し取り組む。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。